

群馬県給食協同組合連合会 第48回通常総会・研修会



群馬県給食協同組合連合会（横山順一会長）は、6月21日、渋川市・ホテル木暮において第48回通常総会・研修会を開催した。

通常総会では、横山会長を議長に議案の審議を行い、事業報告・収支決算、事業計画・収支予算、経費の賦課・徴収方法、借入金残高の最高限度について、満場一致で原案通り可決承認・決定した。



横山会長

通常総会終了後、「食のマーケットの現状と今後の展望」をテーマに、一般財団法人群馬経済研究所主任研究員・小此木伸一氏を講師に迎え、研修会を行った。

小此木氏は、まず、食品関連産業はGDPの約10%、国内就業者数の約13%を占めており、地域経済においても重要な役割を担っていると説明。

次に、食品製造業の現状について、強みと弱みを分析したうえで、少子高齢化やマーケットの縮小など、さまざまな課題があることを指摘。続けて、それら課題に対応するための3つの戦略の方向性を示した。

- ①需要を引き出す新たな価値創造
高付加価値の商品開発、既存商品の魅力向上など
- ②海外市場の開拓
輸出の強化、海外展開を任せられる人材の確保・育成など
- ③自動化や働き方改革による労働生産性の向上
ロボットの導入などの設備投資、AI・IoTを活用した省力化・低コスト化など



小此木伸一氏

※具体的な事例紹介の中で、過去に本誌巻頭の「めいどin群馬」

で掲載した相模屋食料株式会社（2012年5月号）や株式会社スタイルブレッド（2019年3月号）の取組みが取り上げられた。

研修会終了後に懇親会を開催。横山会長の挨拶に続き、斉藤さち子監事の乾杯で開宴した。多数の関連業者も参加し、相互の懇親・懇談が図られる中、長瀬長一監事の中締めで盛会裡に終了となった。



大盃を掲げて乾杯！

ぐんまエコアクション21倶楽部

第13回通常総会・研修会



ぐんまエコアクション21倶楽部（佐羽宏之会長）は、6月25日、前橋市・前橋テルサにおいて、第13回通常総会・研修会を開催した。佐羽会長が挨拶を行った後、議長に選任され、議案の審議に移った。事業報告・収支決算、事業計画・収支予算、経費の賦課徴収方法の各議案が満場一致で原案通り可決承認・決定された。



佐羽会長

◆ 研修会 ◆

総会終了後、環境カウンセラーでお笑い芸人でもある富所哲平氏を講師に招き、「SDGsと企業活動について」をテーマに研修会を開催した。

SDGsとは

「持続可能な開発目標」の略称。持続可能な世界を実現するための国際目標で、2015年の国連サミットで採択された。

17のゴール

SDGsには「貧困をなくそう」や「働きがいも経済成長も」、「女性活躍」などの17のゴールが掲げられている。非常にシンプルである一方、具体的な活動に移しづらいという側面がある。そのため、現在の活動をそれぞれのゴールに当てはめていくことがSDGsの第一歩となる。

事例

○高崎市のある病院は、すべての女性が健康である社会づくりを推進し、女性の生涯にわたる専門病院として女性の社会進出に貢献したと評価され「第2回ジャパンSDGsアワード特別賞」を受賞。従来からの取組みを見事にSDGsのゴールと結びつけた。

○埼玉県のある製造業を営む企業は、全従業員に「家事の分担」などの簡単な活動目標を掲げさせている。一見SDGsと関係ないように思えるが、これも17のゴールの一つ「ジェンダー平等を実現しよう」につながっている。

富所氏は最後に、「今まで行ってきたことであって明確なゴールを設定することで、物事がより良い方向に進むようになることがSDGsの神髄。良い目標を立て、実行し、良い世の中の実現に寄与してほしい」と述べ、講演を締めくくった。



富所氏の講演に耳を傾ける一同

群馬県金属プレス工業会 総会・情報懇談会



天田新代表幹事



清水代表幹事

総会

群馬県金属プレス工業会（清水紀幸代表幹事）は、7月18日、前橋市・中小企業会館において、総会・情報懇談会を開催した。

清水代表幹事を議長に審議を行い、事業報告・収支決算、事業計画・収支予算、経費の賦課・徴収方法について、満場一致で原案通

新役員名簿

(令和元年7月18日就任)

役職	氏名	事業所名	所属支部
代表幹事	天田博久	(有)三光製作所	伊勢崎
副代表幹事	新貝隆一	(有)新貝製作所	桐生
〃	池田光男	(株)池田製作所	太田
〃	清水紀幸	(株)シミズプレス	高崎
幹事	齊藤孝則	(株)サイトウティーエム	高崎
〃	岩崎研司	(株)岩崎	桐生
〃	浜岡敏和	(有)浜岡製作所	伊勢崎
〃	鈴木隆夫	(株)ダイスズ	太田
会計監事	淡島信二	淡島工業(株)	高崎



総会の様子

情報懇談会

り可決承認・決定した。任期満了に伴う役員改選では、代表幹事に有限会社三光製作所代表取締役・天田博久氏が選出された。

はじめに、本会小林雄二郎専務理事が地域別最低賃金について資料に基づき説明した後、情報懇談会に入った。

出席者からは、「売上・収益の減少や受注先からのコストダウン要請などにより、最低賃金の全国一律化に対応するには厳しい」、「国が推進している生産性向上による働き方改革に対して、強い危機感を感じる」、「賃上げに関しては個々の企業で取り組むのは難しいため、業界全体での環境整備が必要ではないか」といった意見が出された。

また、人手不足の状況の中、雇用コストが増加している現状や、若手人材の確保が難しく、継続雇用を活用している状況についても報告があった。

最後に、事務局が本会事業や県の支援施策などについて情報提供を行い閉会となった。